

## 花 木 義 麿

花木義麿氏は、1965年に大隈鐵工所（現オークマ(株)）に入社し、一貫して工作機械、NC装置の研究開発に取り組んできた。1972年にはNC専用高速ミニコンピュータを開発し、世界に先駆けてCNC装置を実用化。数値制御のソフトウェア化により、高機能化・高信頼性化を進め、NC工作機械の性能を飛躍的に進化させた。

1982年には高精度デジタルサーボシステムを開発。このシステムにおいて、ブラシレスサーボモータを世界に先駆けて開発。このデジタルサーボ技術を生かし、自動車のプレス金型等の自由曲面を高速・高精度に加工する高速輪郭加工制御等を開発し、ものづくり産業の発展に大きく貢献している。

企業経営の立場となって以降も、知能化技術の開発を強力に推進し、熱変位補償機能「サーモフレンドリーコンセプト」や衝突防止機能「アンチクラッシュシステム」、加工条件探索機能「加工ナビ」、幾何誤差補償機能「ファイブチューニング」等、これまで永きにわたって解決が困難といわれてきた課題を解消する知能化技術の開発、実用化を推し進めている。

こうした功績に対して、精密工学会賞（技術賞）を受賞、さらに同社は、精密工学会賞、精密工学会沼田記念論文賞、日本機械学会賞（技術）等を受賞している。

学会活動としては、工作機械の発展に関する貢献に対して2006年に精密工学会よりフェローの称号を授与されており、精密工学会の東海支部長として学会活動にも貢献してきている。また、2013年より日本工作機械工業会会長を務め、工作機械業界の牽引役として活動している。

以上のように、同氏の機械製造産業および生産加工技術の発展への貢献と功績は極めて大である。



### 略 歴

- 1965年 名古屋大学工学部電気工学科卒業
- 1965年 株式会社大隈鐵工所（現オークマ株式会社）入社
- 1991年 オークマ株式会社基礎開発センター部長
- 1995年 同社取締役
- 1999年 同社常務取締役
- 2001年 同社常務取締役兼オークマアメリカ Corp. 取締役社長
- 2005年 オークマホールディングス株式会社取締役兼事業子会社オークマ株式会社代表取締役社長
- 2006年 オークマホールディングス株式会社（現オークマ株式会社）代表取締役社長（現任）
- 2013年 一般社団法人日本工作機械工業会会長（現任）  
精密工学会フェロー（2006年度）